

学校だより



福島県立大笹生支援学校
NO.1 令和7年5月14日



校長あいさつ

今年は、始業式・入学式を待ってくれたかのよう
に桜が開花しました。桜は開花前、一本一本、蕾の部分だけではなく、幹や枝など全身で開花する準備をしているそうです。開花した桜のように、子どもたち一人ひとりが、今年も秘めた力を思いっきり発揮して成長する姿を想像し、ワクワクした気持ちになりました。



本校は、今年度も、小学部、中学部、高等部と一貫したキャリア教育を計画的に進めてまいります。私たちの願いは、「子どもたち一人ひとりが、自分の目標をもって取り組めること」「毎日、笑顔で元気に学校生活を送ることができること」そして、「進路実現を成し遂げること」です。一人ひとりの能力を引き出すためには、子どもたちの興味・関心の幅を広げることで、「わかる」「できる」を増やしていくことが大切です。自分から学習に向かう時、子どもたちは深く考えたり、何度も挑戦したりしながら、「わかった」「できた」「楽しい」「成長した(変わった)」という達成感や満足感を得ることができます。それは、大きな自信となり、次の学びへの意欲にも繋がります。一日一日の充実した学びが積み上がった結果、卒業後の進路に結び付くのではないのでしょうか。小学部段階からの積み重ねが、高等部卒業後の未来に繋がっていることを意識し、子どもたちの成長や夢の実現に向けて、教育活動に取り組んでいきたいと思います。

本校の子どもたちの卒業後の自立と社会参加に向けて、今年度も、保護者の皆さま、そして関係機関や地域の皆さまのご協力とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

校長 植田 貴子

入学式

4月7日(月)には小中学部の入学式が、4月8日(火)には高等部の入学式がありました。小学部は14名、中学部は19名、高等部は29名の新入生がそれぞれ入学し、合計62名の児童生徒が新たに本校の一員となりました。両日ともに天気に恵まれ、柔らかな春の日差しが降り注ぐ中での式となりました。式では、新入生の代表生徒が「新入生誓いの言葉」を堂々と読み上げました。また、在校生から「歓迎の言葉」が贈られた時には、真剣な表情で聞き入る新入生の姿が印象的でした。これから始まる学校生活へ期待も大いに膨らんだことと思います。

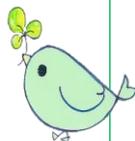


(学校だよりは HP からでもご覧いただけます。QR コード





地域支援センターささっこ



本校には、教育相談の場として「地域支援センターささっこ」があります。南校舎1階玄関の正面にあり、どなたでも利用することができます。相談は無料です。秘密は厳守します。

- お子さんの発達や養育に関する相談
 - 幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校等の先生方への支援
 - 特別支援教育に関する情報提供
 - ご希望に応じた学校内のご案内
- 特別支援教育アドバイザーや教育支援部の教員が相談に応じます。
- ぜひお気軽にお立ち寄りください。



学習評価のお知らせ

今年度より、児童生徒に向けた学習評価のお知らせとして『あゆみ』をお渡しします。わかりやすい言葉や写真を使い学期ごとに作成します。学級活動やホームルームで活用し、学習を振り返り次の学習への意欲につなげます。保護者向けには昨年度と同様に年2回「個別の指導計画」で各教科等の評価を具体的にお知らせします。個別懇談の際にもお伝えいたしますので、内容について学級担任とよく共有していただきますようお願いいたします。



発達段階や実年齢に応じたキャリア教育の推進

「キャリアパスポートを活用した主体的に進路を考える力の育成」
本校では児童生徒が卒業後のなりたい自分におき、小学部・中学部・高等部においてキャリアパスポートを作成しています。キャリアパスポートは『自分の夢』を明確にし、夢を実現するため「具体的に何をした」「今度は何をする」といった内容をまとめていく個人資料です。学期末に活動や学習をまとめたり、活動の様子の写真を貼ったりしています。児童生徒の主体的な学びを積み重ね、将来の進路実現につながるよう取り組んでいます。

